

トリプルネガティブ乳癌に対する術前化学療法としてのペンブロリズマブ使用経験の報告

1. 研究の対象

2022年9月から2023年12月までに当院で乳癌と診断され治療開始した早期乳癌463例中、TN乳癌で術前化学療法としてペンブロリズマブ併用レジメンを投与した14例

2. 研究目的・方法

有害事象と治療強度を後ろ向きに検討した。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2024年7月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 乳腺外科
当院研究責任者：五十嵐 麻由子
連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3
TEL：025-266-5111（大代表）